

過去に大きな震災の経験がなくても危機意識を持って対応

劣悪なトイレ環境にならないために

花巻市では、阪神大震災の規模を想定し、その罹災率から当市での数量を算出し備蓄を進めています。「アルファ米は約14000食、毛布は2000枚、水は1.5Lペットボトルで約1000本、トイレは汚物の後処理が必要なバケツタイプのポータブルトイレを42台。その他、発電機が自衛消防団の各屯所に置いてあります。ただ、花巻市は1市3町合併して3年になりますが、備蓄整備については地域により多少のバラツキがまだあります。今後は予算的な面も配慮しながら、備蓄整備を統一する方向で考えております」(押切様)。

今回ラップオンとダンビーの導入を決めた理由は、「衛生車がカバーしきれない被災地において、劣悪なトイレ環境にならないために"臭わない・排泄後の処理が簡単なトイレ"が必要だったからです」(佐々木様)。

花巻市の防災力を高めていく

防災危機管理室は、2009年4月より総務部の中に防災危機管理を統括して担う部門として発足した。災害予防と災害対策の双方から市の防災力を高めていこうとするものである。花巻市は過去に大きな震災にあった経験がないが危機意識をもって災害対策に取り組んでいる。

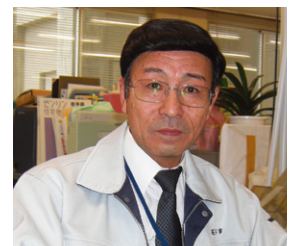
「今後の備蓄は計画を持って、備蓄のバリエーションを増やすとともに、備蓄数も増やしていきたい。予算の関係もあるが、まずは助けを必要とする要援護者が多く集まる所にラップオンを設置して、安心して用を足せるようにしていこうと考えています」(佐々木様)。



花巻市防災資材倉庫

取材:株式会社新興製作所

Interview



総務部 防災危機管理室
室長
押切 正博 様



総務部 防災危機管理室
主査
佐々木 正晴 様



花巻市 総務部
防災危機管理室

市役所住所 〒025-8601 岩手県花巻市花城町9番30号

人 口 □ 103,934人(平成21年9月30日現在)

概 要 花巻市は岩手県のほぼ中央、北上平野に位置し、東には高山植物ハヤチネウスユキソウで知られる日本百名山の早池峰山があり、西には深谷谷いに湧き出る花巻温泉郷があり季節ごとに変化に富んだ自然風景が広がる美しいまちです。